



小さな階段を上るようにIT導入が進む

実践ガイドブック

社内のIT導入が思うように進んでいない中小企業の経営者が、そばにおいて役立つガイドブック

- この度は、小さな階段を上るようにIT導入が進む実践ガイドブックをダウンロードいただきまして本当にありがとうございます。
- ITを活用することで大きな成果が得られることは間違いありませんが、IT導入はステップを踏んで導入をしていくことで、着実に進めることができると思っています。
- ぜひこのガイドブックを参考にして、ITの活用が進むことを、心より願っています。



二宮技術士事務所
代表 二宮 和彦

中小企業の成長に向け、成長基盤となるビジネスプロセスの变革とITの活用ができる仕組みづくりをお手伝いしているパートナー型コンサルタントです。

- ・ 20年以上の長期にわたるSEの経験
- ・ ITマネージャーとして年間100件以上のソリューション対応を経験
- ・ 商品開発や企画業務の経験が豊富

書籍一覧



ご挨拶

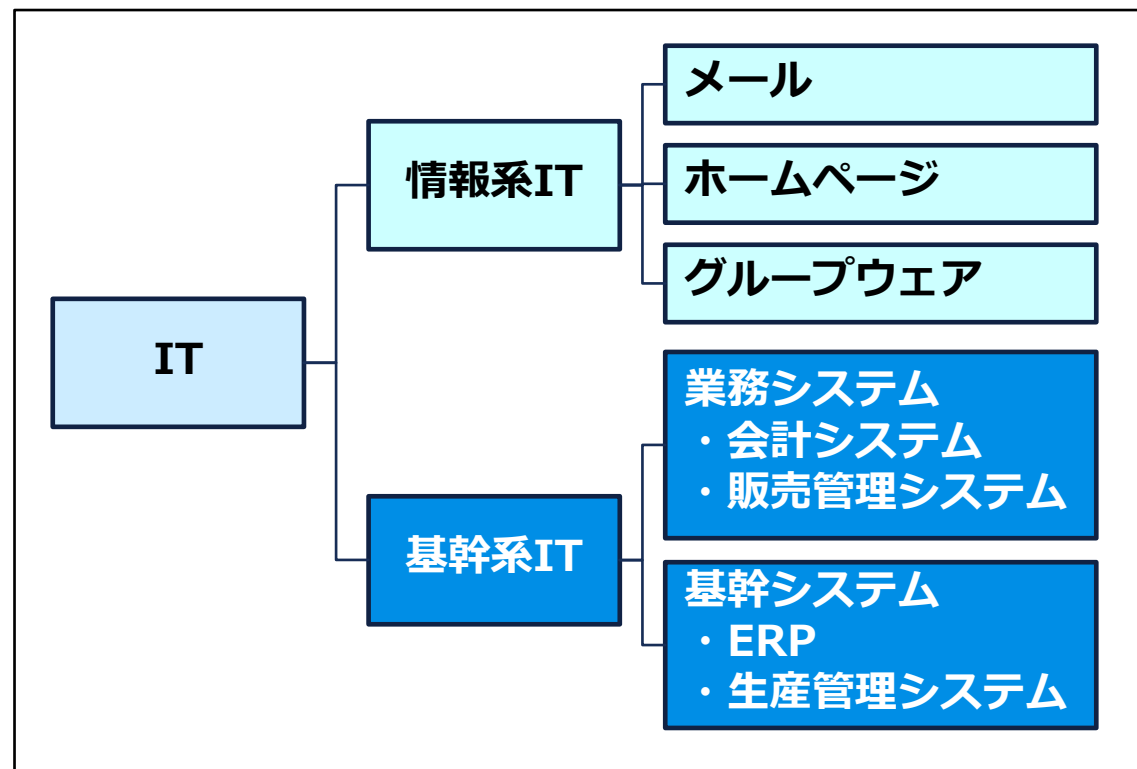
なぜIT導入は難しいのか

- **ITには簡単なITと難しいITがあります。**
簡単なITであれば、導入するだけで誰でも使えるようになるため成果も得ますが、難しいITは導入しただけでは、まったく役に立たないこともあります。
- **導入したけれども動いていないITがある。**
高価なITを、思い切って入れたにも関わらず動かすことができなかったという例も良くお聞きします。
- **一部の機能しか使えていないITがある。**
いまのITは多くの機能を備えているため、一部の機能しか使っていない例は多いのですが、重要な機能を使えていないITの場合には、大きな成果を出すことは期待できません。



ITは導入しても動かないものがある

- **ITを導入しても動かさないITとは**
ITを分類すると、右図のように分けることができます。
- **情報系IT**
ITが停止をしても直接業務を止めてしまうようなことが少ないITです。
導入がしやすく利便性が高くなります。
- **基幹系IT**
システムが停止すると、業務が止まってしまうようなITです。業務に直結するために、重要なITになります。
重要なITは、情報系のITのようにITを入れただけでは動かすことができません。
- **成果の大きさ**
重要なITになればなるほど、ITをしっかり動かすことで大きな成果が期待できます。



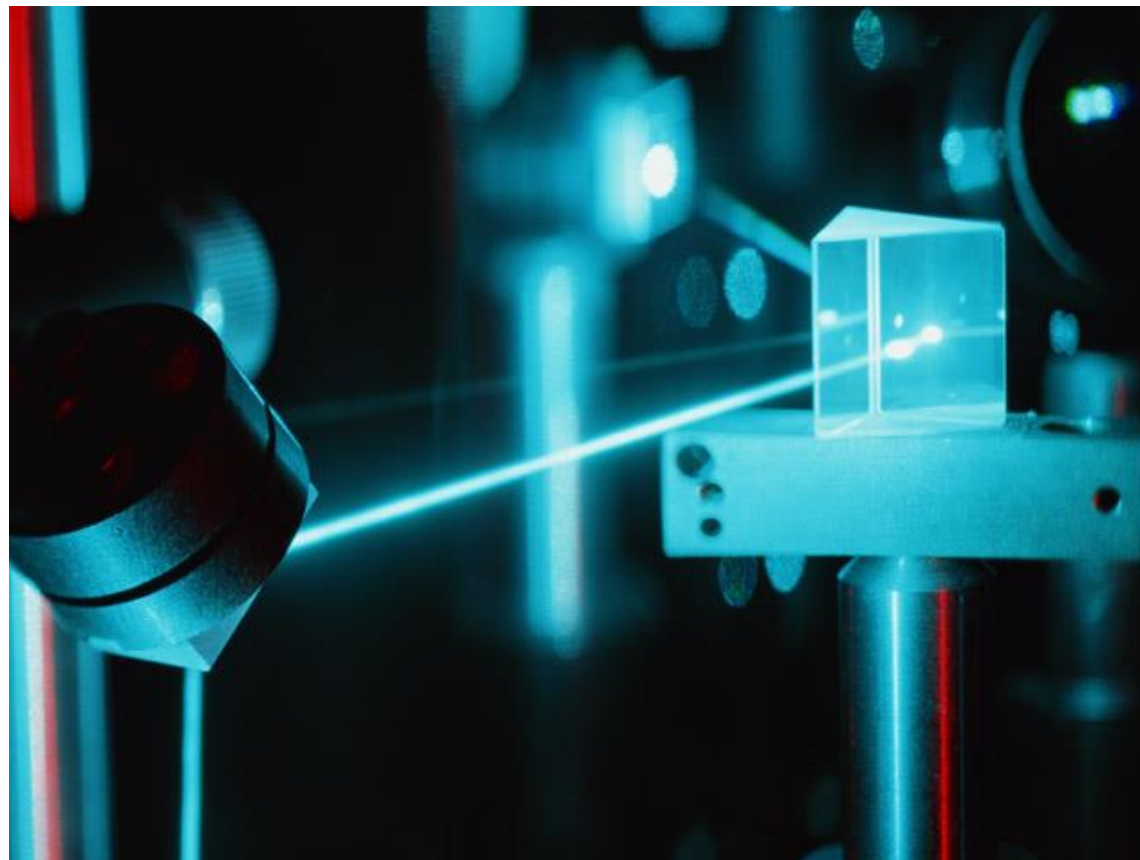
重要なITをしっかりと動かすためには



- **重要なITのポイント**
重要なITは、ITだけではまったく動いてくれません。情報系のITは個人のスキルによるところが大きいのとそれほどITのスキルは要求されません。全員が使えるためには、だれでも使えるスキルレベルにしているからです。
- **ITを動かすためのスキル**
重要なITは、大きな成果を出すために、ITを動かすためのスキルが必要となります。
- **業務を動かすためのスキル**
システムで業務を動かすためには、業務の知識やしっかりしたルールも必要となります。
- **部門間の連携**
重要なITは多くの部署と連携することが多いため、社内の円滑な連携が必要となります。

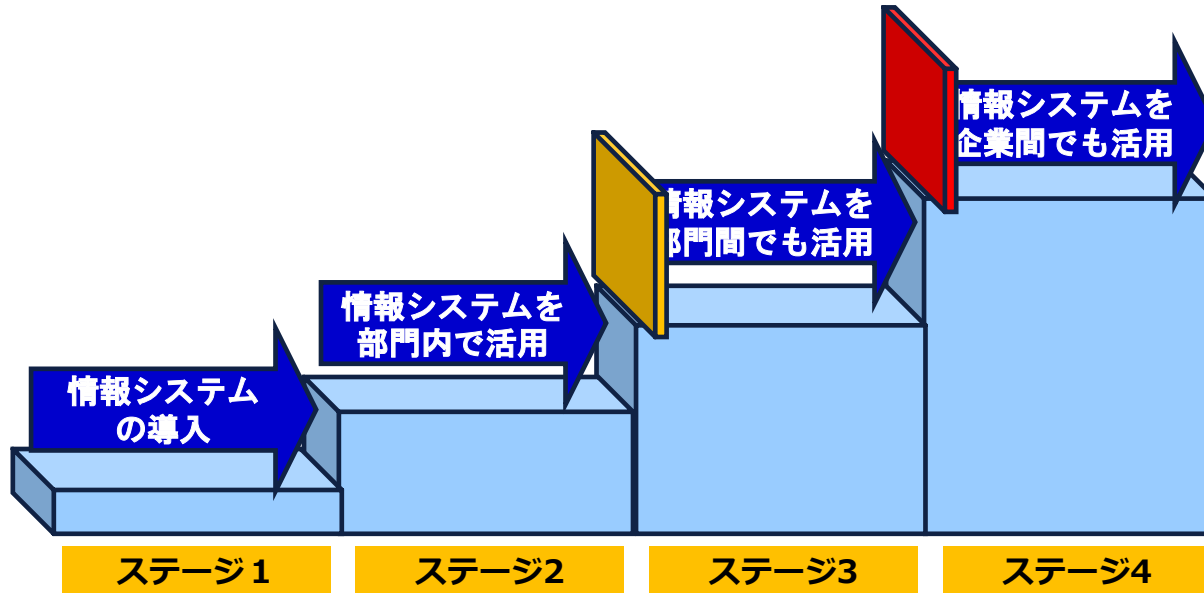
なぜ小さな階段が必要か

- **自社のレベルに合わせてステップアップ**
ITには簡単なITから難しいITまで、いろいろなITがあります。そのため自社のレベルに合わせて適切なITを導入して少しずつステップアップをしていくことが良いでしょう。
- **社員のITスキルの成長**
導入するITのレベルが上がっていくことで、社員のITスキルも上げていく必要があります。ITのレベルを上げていきつつ、自社の社員のITのレベルも少しずつ上げていきましょう。
- **部門間の連携**
重要なITでは、部門間の連携が必要になってきます。部門間が協力できる文化になるよう、自社の企業文化も少しずつ成長をしていきましょう。



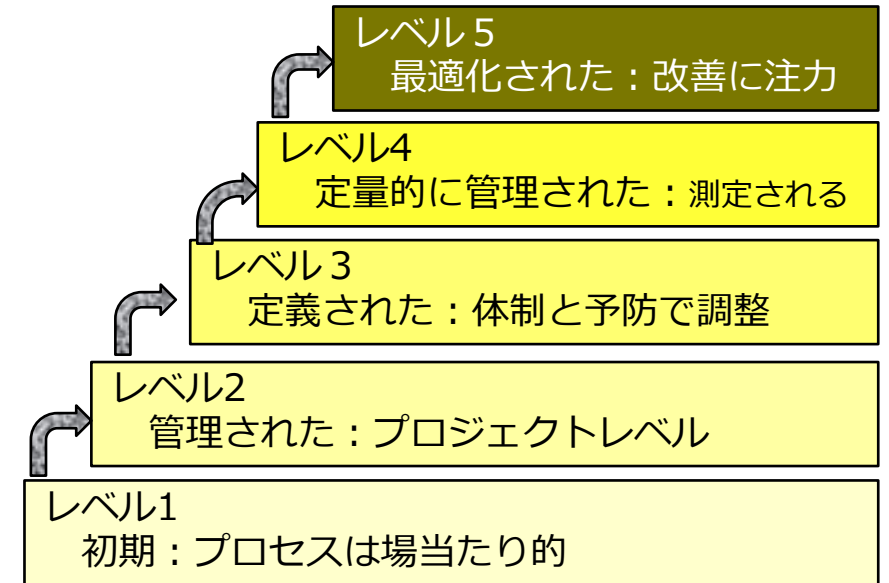
➤ ITの導入の階段と乗り越える壁

ITを導入していく階段は、小さな部門から大きな部門に拡大し、部門間の活用へと拡大していくステップになります。



➤ ITのリテラシーと活用レベル

ITを活用するためには、ITを利用するためのスキルと、ITの成熟度を上げていくステップになります。



IT導入のための2つの階段

ステップアップをしていくために重要なポイント



- **自社のレベルを確認**
社員のITスキルはどれくらいかを把握して下さい。企業文化のレベルを確認して下さい。部門間の連携がどれくらいスムーズに進むのか、あるいは新しい取り組みに反対しそうな人がどれくらいいるのか、がわかれば企業文化のレベルが確認できます。
- **導入するITのレベルを確認**
導入するITは自社のレベルに合っているITかどうかを確認して下さい。自社で使いこなすことが可能かの視点で見て下さい。
- **背伸びして届く内容のITですか？**
成長をめざすために、チャレンジをすることがあります。しかし検討するITは、自社が背伸びをして届くレベルのITかどうかを確認して下さい。

ITの種類と対応が求められるレベル

ITの種類によって、対応が必要となる項目とレベルがあります。メールやグループメールは自社に適合したITでなくとも利用できますが、生産管理システムやERPになると、ITを動かすこと自体が困難になります。成果の上がるITでは以下の項目が重要になります。

■ ITベンダーの選択

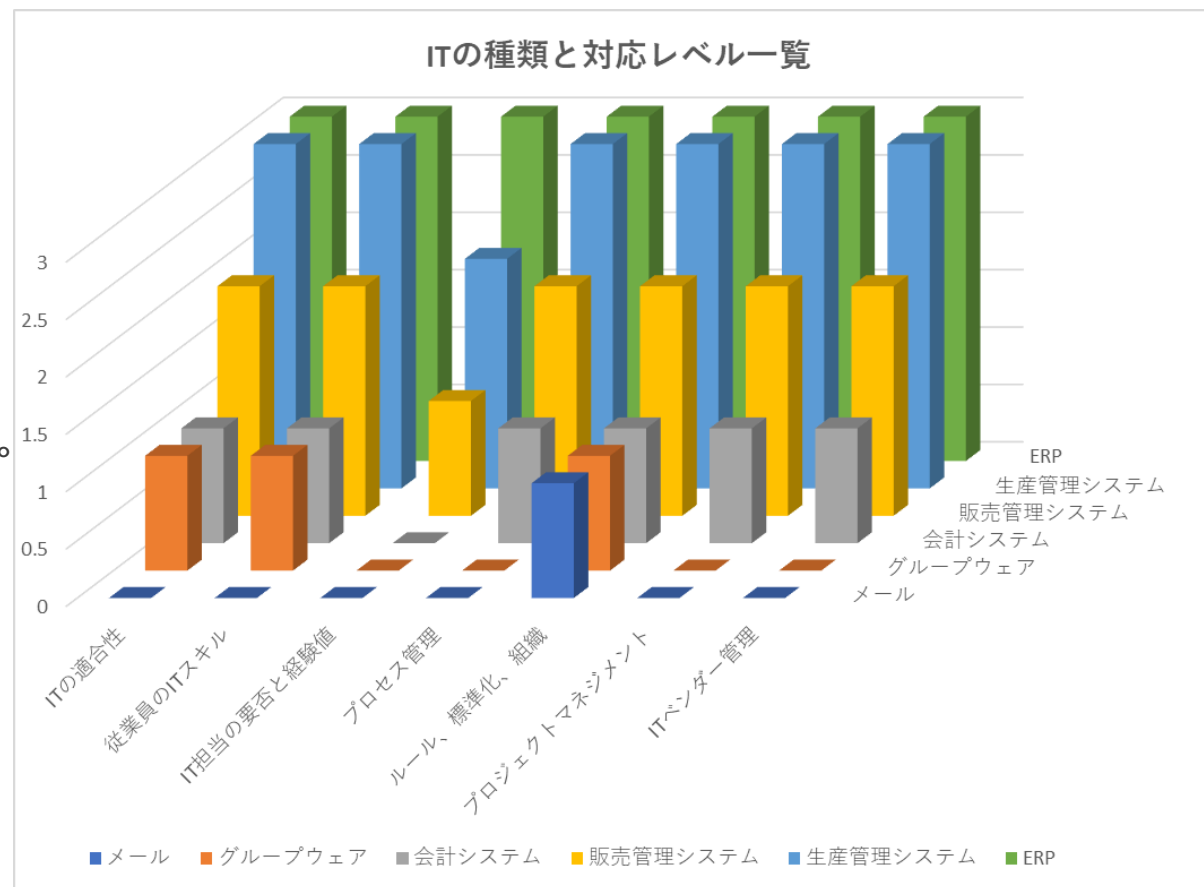
良いITベンダーを見定めて、長期に渡りお付き合いをすることが、両社にとって大きなメリットになります。

■ IT人材

ITのレベルが上がってくれば、IT人材の配置が必須になってきます。最初はITに詳しい人から始め、IT戦略を立案できるような人材に成長させていきます。

■ プロジェクトマネジメント

難しいITの導入には、プロジェクトマネジメントのスキルは必須になってきます。



導入するITの難易度に合わせてステップアップ

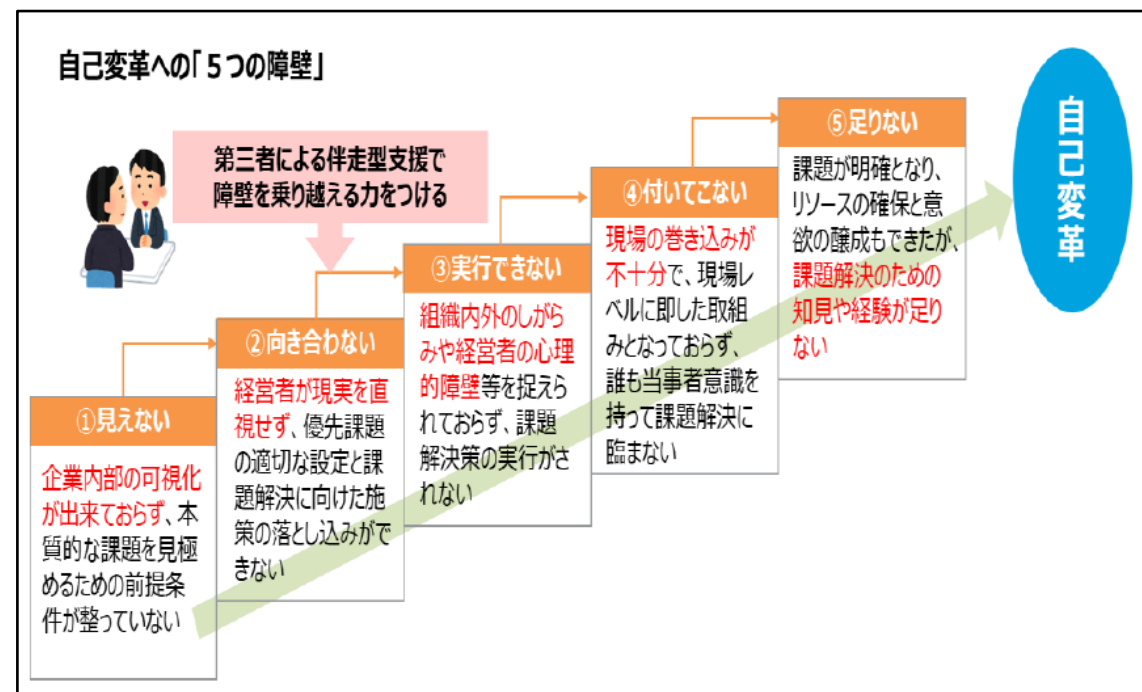


- **情報系ITと業務系・基幹系ITのギャップ**
情報系のITと業務系・基幹系のITでは大きな違いがあります。業務系ITと基幹系ITでは業務に直結するため各社の業務フローやルールがさまざまになります。このため自社の業務分析を先に行い、システムとのギャップを整理して対応方法を決める必要があります。
- **ギャップを埋めるための小さなステップ**
ギャップは、前述のグラフに示しましたが、多くの項目で求められるレベルが変わります。大きなギャップがある項目は、ITを導入するまえに、少しずつ知識や経験を重ねて、必要な人に求められるレベルに近づけていく必要があります。業務の標準化や業務プロセスなどの見直しも同様です。このようにITの導入までの間に、多くで対応していくことが、ITの成功につながります。

IT導入の階段を楽に上っていきける パートナー型の専門家支援の活用

IT導入の階段を、着実にひとつずつ上っていくことで長期的には大きな成長につながっていきますが、階段がひとつではないことが厄介です。それぞれの状況を見ながら進めるためには、パートナー型の専門家の支援を受けることも解決策のひとつになります。

- **最適なITの選択**
自社に合ったITが選択できることで、費用対効果の高いIT活用が期待できます。
- **IT関連スキルの向上とIT人材育成**
社員のITスキルの向上とIT人材の育成をIT導入に併せて支援をしていくことで早期の成長が期待できます。
- **企業文化の変革**
ITの導入に併せて業務プロセスを見直したり、社内のルールを見直して、企業文化の変革を促進できます。



出典：2022年版中小企業白書・小規模企業白書概要



最後までご覧いただき
ありがとうございます

ご質問がございましたら、以下の
アドレスからお問合せ下さい。

info@n-pe.jp

二宮技術士事務所
代表 二宮 和彦